

# 支援する会ニュース

2022. 2. 24 NO. 70

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会  
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会  
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野1-12-6 3階  
中小労組政策ネットワーク気付  
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

## サンケンコリアの無対応は本社の指示なのか！？

2月17日に第69回木曜行動がのべ85人の参加で取り组まれました。この日はおおさかユニオンネットの大阪営業所抗議行動も行われました。この日午後3時半から、旭正規職労組を支援する行動が丸の内のAGC（旧旭硝子）本社前で行われ、支援する会の仲間3人が参加しました。2月16日にはレーパーネットTVでサンケン闘争が特集され、オンラインで韓国サンケン労組が出演し、尾澤夫妻も参加しました。さらに、2月17日夜には韓国の公共放送KBSの50分特別番組「日本へ走れ！連帯の道を（原題：일본으로 튀어）」が放映されました。字幕入りでFBに掲載してあります。視聴、拡散、書き込みなどお願いします。

### 〔本社正門前〕



支援する会の仲間の発言で行動開始。韓国からイジョンヒさんが「私達が一体何でこの寒い中、暖かい家ではなく、冷たい

道路の上にテントを張ってなければいけないのか、馬山にいることもできず、家族と離れて2週間も何で寒いソウルのテントに座り込んでいなければならないのか。…私の人生がそのままだめられている韓国サンケンの工場を私に返してください。もう一度繰り返し申し上げます。私たちがとの交渉に出てきてください。私達が望むことは工場に戻って働くことだけだ」とアピール。韓国からキムウニョンさん、キムヒョンガンさんもアピールしました。埼玉市民の会、旭ダイヤの仲間のアピールがあり、怒りのシュプレヒコールで行動終了。

### 〔志木駅南口前〕

埼玉市民の会の仲間のアピールで行動開始。韓国からはペクウンジュさんが「時間をずるずると引き延ばすことは日本のサンケン電気にとって何の利益にもならないことを今すぐ理解し、できるだけ早く交渉の場に出てくることを望んでいる。今からでも遅くない。日本の仲間たち、そして日本の市民に対してもサンケン電気は心から謝罪をする必要がある。私達の生活を昔のように取り戻したい。韓国サンケンの工場をもう一度再稼働させてください」とアピール。韓国からはキムウニョンさん、ヤンソ



ンモさんも発言。ゆいの会などの皆さんによる「朝露」の替え歌、群馬合同労組のアピール。支援する会の仲間

がまとめの発言をして行動を終えました。

### 〔池袋・東京営業所前〕

渡辺共同代表の発言でスタート。韓国からオヘジンさんが「いくらサンケン電気が私達の話し合い要求を無視したとしても、私達はへこたれることなく、今日も闘いを続けている。私達はこれまで座り込みのテントを工場前の馬山にだけ置いていたが、先日新たにソウル市内のサンケンコリアの営業所前にも新たなテントを建てて、馬山とソウルを貫いたテント闘争を展開している。私達が座り込みテントをひとつ増やして2か所で闘いを展開したのは、これで決着をつけるとした決意だからだ」と闘いの決意を明らかにしました。韓国からはキムヒョンガンさんも発言。日本からは埼玉市民の会、サンケン太郎、尾澤邦子さん、韓統連、山日労、韓国山本争議を共にした仲間、武蔵学園労組、全労働者組合がリレートーク。怒りのシュプレヒコールを響かせました。

### 民主労総から尾澤夫妻に感謝盾

刑事弾圧に屈せず、闘病にも頑張った韓国サンケン労組支援をともに闘う尾澤夫妻に、今年2月民主労総より感謝盾が贈られました。現在、韓国サンケン労組が保管しています。そこには「偽装廃業・解雇に立ち向かう韓国サンケン支会労働者たちの闘いに献身的に連帯し、模範的な国際連帯の闘いを繰り広げた同志たちに、民主労総全組合員の心を込めて感謝盾を差し上げます。2022年2月10日、全国民主労働組合総連盟、委員長ヤン・ギョンス」と日韓両語で刻まれています。

この感謝盾は透明クリスタル製で、化粧箱付きです。感謝盾は尾澤夫妻にとどまらず、韓国サンケン労組支援に参加している全ての仲間への感謝の言葉にほかなりません。